

予想通り、自分の身につけている技術や知識の稚拙さや、指導することの難しさに気づかされることの連続でした。

今回の雪上講習会では、例えばSTTBにおけるプラトリーの重要性など、今まで意識していなかった事を知ることができました。また、歩行の仕方ひとつとっても、それを言葉で伝えることの難しさを実感できました。大変有意義な2日間だったと感じています。

今後機会があれば参加させていたただきたいと思っています。

## COP10自然観察会

### 豊富な草花に歓声

愛知岳連自然保護委員会が、3月28日(日)COP10開催記念自然観察会を海上の森に於て行った。

午前9時、駐車場に18人の参加者が集まり、指導員の研修も兼ねて、講師にやまびこ山想会自然観察部長・鈴木行薫氏を迎え、杉本三郎自然保護委員長の後、行動を開始した。

最初は、車道を歩きながら観察を深め、途中から山道に入るとシュランが群生し、三角点では瀬戸市街を眺める

ます。ありがとうございます。



7合目幕営地で

展望を楽しみながら、シヨウジョバカマやシデコブシの花を観賞する。また、物見山ではその由来を聞くなどして、大正池を回り、12時里山サテライトに到着した。

周囲は、桜が満開でタンポポ、モクレンの咲く農村風景を堪能しながら、昼食後に解散した。

海上の森で植物等観察  
自然保護指導員  
渡辺 真知

COP10開催記念認定自然観察会が、海上の森で行われた。講師はやまびこ山想会自

然観察部部長の鈴木行薫さん。テーマは里山の春の植物である。

森の中に入ると早速、シュランが出迎えてくれた。冬の間、葉を落とした木々の足元に咲いているので、その黄色が瑞々しく際立って見える。コバノミツバツツジのピンク色の花も、芽吹きの前はこの季節だからこそ、周囲の木々の葉に覆い隠されることなく映える。他、葉が出る前に花を咲かせるクロモジ、ダシコウバイ、キブシも黄色い小さな花を沢山つけていた。

途中の湿地では、ハルリンドウが可憐な花を咲かせていた。大変清楚なコバルトブルーの花の中に、一輪だけピンク色のハルリンドウがあつて不思議だった。同じく、湿地のみに自生するというシデコブシは、まだ花の咲き始めだった。シデコブシは、東海地方の湧水性の湿地に自生する貴重な樹木で、海上の森には約1000本もあるそうだが、シデコブシの調査の時、木の根元が踏み荒らされ、ハルリンドウが失くなってしまった所があるという説明を聞き、自然の調査や観察を行う時は、充分に周囲にも気を配らなければならぬと感じた。

そろそろ満開の時期を迎える頃だが、海上の森では、オオシマザクラ、ヤマザクラが満開で、ソメイヨシノとは違った趣をみせていた。

他にもカンアオイ、シヨウジョウバカマ：等々多くの植物の観察ができた。何度か訪れている海上の森の多様な植物の存在を改めて知り、興味深かった。また、これらの植物が森の多くの昆虫や動物の存在に関わっていると思うと、身近な里山がいつまでも守られていくことを願わずにはいられない。

(やまびこ山想会)



山道を歩きながら自然観察

◎次回理事会は  
8月24日(火)です

名古屋駅前の山とスキーの専門店

# 駅前アルプス

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目11-27  
(第2トヨタビル東館1F)

TEL 052-565-1417

山旅の予定が満腹  
年間総合力タログ  
無料送付致します  
ご請求下さい!

オーダーメイドの山旅も取り扱います  
お見積もり無料! お気軽にどうぞ

初心者からベテランまで...国内日帰りから海外の名峰まで...!  
高所登山の前に最適! 低酸素トレーニング室を設備しています!

国土交通大臣登録旅行業第1366号/日本旅行業協会正会員/ボート保険会員

**アミューズトラベル株式会社**

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-11-27 第二豊田ビル東館7階  
TEL:052-588-5617 FAX:052-588-5618 (1階は駅前アルプスさん)



## 春山合宿報告

## 黒部横断記録

日程 4月29日～5月3日  
行程 大谷原→鎌尾根→鹿島  
槍ヶ岳→牛首尾根→S  
字峽→ガンドウ尾根→  
小窓雪渓→剣岳→早月  
尾根→馬場島

メンバー  
L波多野、西田(千種  
アルパイン)、神保、  
板倉(名古屋ASC)

「黒部横断」この言葉の響きに憧れ続けていた。今回ようやくその山行が実現した。初日はダイレクト尾根から鹿島槍ヶ岳への登りを予定していたが、雨が降り出してきていたのでグレイドを下げて鎌尾根を登ることに急きょ変更する。鎌尾根上では雪となりホワイトアウトの状態なので気が抜けない。頂上到着した頃には、天気は急激に回復し、我々4人は明日の黒部横断を想像しながら意気揚々に、牛首尾根を標高2300m付近の樹林帯まで下降して行った。二日目、テント場を出発して3時間ほど、特に迷うことなく建物跡地にたどり着いた。時間はまだ8時である。黒部川のつり橋まで水平距離にして200m程であったため、余裕のヨッチャンで黒部川まで到達出来るだろうと考えていたが、そうは甘くなかつ

た。枝尾根に迷い込んで右往左往している間に、我が会の西田さんが滑落した。緩やかなルンゼを10m滑り落ち、大滝の落ち口1m手前で止まった。「あそこまで止まらなかつたら」と思うと恐ろしい。登り返して建物後に戻り、そこから懸垂下降を繰り返す。我々が目指していた地点は、東谷の出合から150mほど上流の地点である。なぜなら地形図で見ると黒部川と東谷一帯は、ゴルジュ記号で覆われているが、この地点だけわずかにゴルジュ記号が無かったからだ。少々時間は掛かったもののピンポイントで目標地点を確認できたが、東谷の川床を見下ろして驚愕した。雪渓で覆われていたと思っていた谷は、轟々と元氣よく雪解け水が流れていたのである。弱点は100m先下流にスノーブリッジが繋がっている、これを使って対岸に渡ることが出来そうだった。ここまではGPSを使って来たが、ここからは沢登りで培ってきた沢屋の勘が活かされるところだ。東谷のゴルジュ上を確保しながらのトラバース、懸垂下降時には懸垂ポイントの選択肢を増やすために登る事もした。最後は50mいっぱいの空中懸垂でスノーブリッジに降り立つ。建物跡地から水平距離で200mの間を1時間行動したことになる。

東谷出合いに丁度いいテント場があったので、今日はここで泊まることとした。

三日目、朝、ガンドウ尾根の下部を見上げて見ると、なかなかの急斜面である。登り易そうな鉄塔脇の雪が付いたルンゼから登る。雪が切れると藪との戦いだ。しばらくは雪と藪のミックスを繰り返しながら標高を上げていく。傾斜が落ちると尾根は瘦せてちよっとしたギャップやリッジなども出てくるが、問題なくクリヤーできる。ガンドウ尾根ではザイルを一回も使用しなかった。事前調査では結構悪いと聞いていたが、たいしたことは無かった。

四日目、牛首尾根で時間を掛すぎたため、予定していた八つ峰は取りやめる。小窓雪渓から池ノ谷乗越のルートを取る。もう垂場は無いと思っていたが、小窓から小窓ノ王の間が思ったより悪く感じられた。池ノ谷乗越からはしっかりとトレースのついた道を追いかける。疲れが溜まってきたためか、スピードが上がらない。最初は馬場島まで行けるかもと考えていたが早月小屋が精一杯である。五日目、疲労は残っているが、最終日であるし行程も短いので、早月小屋から馬場島まで快調に下り「憧れと試練」の碑に到着する。

(波多野・記)

## 奥穂高岳南稜

名古屋山岳会

丹羽大輔

▼5月2日(日)～3日(月)  
メンバー L丹羽大輔、有富保之  
コース 5月2日 上高地→岳  
沢→南稜取付→トリコ  
ニー→南稜の頭直下(迫  
5月3日 南稜頭直下  
→奥穂高岳山頂→扇沢  
のゴルジュ上高地

連休が2日しかとれなかったが、当会の春合宿にアルパインがなかったので三流クライマーの丹羽がリーダーとなり、かねがね行きたいと思っていた奥穂高岳南稜に行ってきた。

5月1日の夜、日付がまさに交わるうかという頃、スーツ交の有富さんと合流し沢渡へ向かう。到着は明け方4時。丹羽は1時間くらい、有富さんは一睡もせず上高地行きのバスに乗り込む。上高地の朝はひんやりと肌寒い。今晩は3000mの雪の上にツエルトとシュラフカバーで寝るのかと思うと、先が思いやられる。上高地から岳沢までの道のりは地味な登りが続く。ヒール言いながら登って2時間、岳沢に到着。想像していたのよりテントの数が少ないのはアルパイン離れの影響なのだろうか。アイゼンやハーネスを装着し、まずは滝沢の大滝を目指す。遠くから見える水柱は一見大滝に見えるのだが、近づいて見ると大滝というに

安心して選べる三河地区  
のプロショップ  
JR刈谷駅前

ピキナーから  
エキスパートまで



登山用品豊富!

穂高

〒448 刈谷市板町1-13  
TEL0566(23)8611  
定休日/火曜日  
営業時間/10:00～20:00

CLIMBING PARK

東三河初のクライミング施設



<http://climbing-park.com>

☎0532-26-3737

住所:愛知県豊橋市関屋町138番地



モンタニア

住所 愛知県豊橋市堂町5番地 ☎0532-85-0125 <http://www.montania.jp>

はスケールが小さい。どうも更に右奥の埋まり気味の滝がそれではないかと判断し、滝の左側のリッジ(南稜)に取り付け、ここまで岳沢より1時間。

南稜の出だしはブッシュがヒドイし結構な傾斜がずっと続く。体中が這松フレーパーだ。それをよしいしょと抜ける。今度は長い雪壁が続く。この頃から有富さんに徹夜の影響が出始める。南稜にはトリコニーと呼ばれる、クライマーを虜にする短い岩壁がある。ここでしばしお昼寝。天気は快晴で気持ちがいい。トリコニーはガバの連続で意外に岩もしつかりしていたので、ノーズギルでたつたかと思えるほど、次に雪庇を伴うナイフリッジが現れる。微妙なバランスを要したので、ザイルをだし、ナイフリッジ、短い急な雪壁、ナイフリッジと3ピッチをツルベで越える。

お互いろくに寝てない影響かペースが上がらず、5歩歩いて一呼吸しながら急で長い雪壁を越していく。するとまた急で長い雪壁が現れる。長い、長すぎる。さすがに心が折れ、適当な斜面に雪洞を掘ってビバークする。シュラフカバーは風の音をする。シュラフカバーだけなので雪洞がないと寝れないだろうなと思いき死に揺る。なんとかか？人横になれるスペースができたので、晩飯のお茶漬けを一瞬でたいらげ就寝。軽量化のた

め食料も削った。朝はおにぎり1個、行動食にスニッカーズ2本、晩がお茶漬けだった。2日は、天気は快晴。朝飯の配給はカローラPメイト2本とスーパ。ビバーク地の目の前に広がる雪壁を越すとすぐ南稜の頭にてた。頂上の祠がすぐそこに見える。トレースは若干雪庇の上についているので慎重にルートを通き、ビバーク地より25分と奥穂高岳の山頂に到着。まさしく360度の大パノラマ。槍ヶ岳や富士山らがよく見えた。

計画ではここより明神主稜をいく予定だったが、前穂高岳への登り返しを見て登り返せる自信がないという意見で一致し、もつとも所要時間が短いだらう扇沢から岳沢への下降に変更。馬の背の下降は相当怖かったが、さすがにベテラン有富さんはスムーズに降りていく。扇沢のゴルに着いた時はホッとした。僕の知る限りこんな細い背中を持つ馬など見たことない。落ちるなら飛騨側より信州側がいいって昔聞いたことを思い出した。その後はただただ扇沢をくだり、スタスタと岳沢もくだり、観光客で賑わう上高地に到着。腹いっぱいになるまで買い食いし帰路についた。

## 春山遭難対策会議

### 今春は天候不順 雪崩に注意

春山の遭難対策会議が、4月20日(火)午後7時30分から県スポーツセンターで開かれた。今年も、22団体から130人が春山を計画しており、各山岳会のリーダーらが出席した。

冒頭、北村理事長が「北陸や東北の山々では遅くに降雪があり、その後、暖かい日がつづいて雪面に空洞ができていく。雨が降ると雪崩れるので充分気を付けてほしい。また、パーティー間で連絡をとるあい、万一、事故が発生した時は情報を取り合う。まず

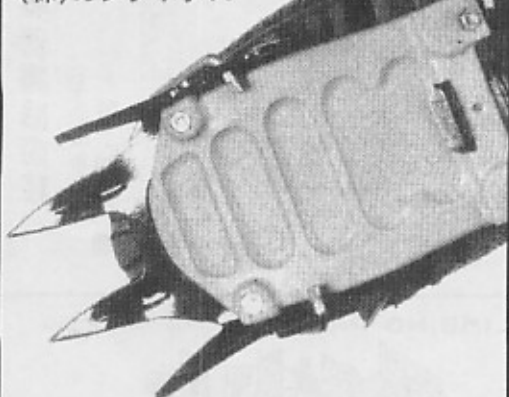
は事故防止に努めて頂きたい」と語った。また、高橋遭対委員長は「このところ天候が不順で温度差が激しいので、雪崩に注意してほしい。また、2、3日前の天気を予測して行動してください」と注意を促した。

そのあと出席者は、各山城ごとに分かれて協議を重ねた。

## やまびこ山想会が 宇連山を清掃登山

5月30日(日)同会々員38人が、貸切バスで宇連山に向かい、9時30分から14時まで登山道一帯で清掃を行った。同会は、毎年一回清掃登山を実施し、登山者に環境保護を呼びかけている。

(株)カジタックス



# KAJITAX

雪稜・氷壁・銀世界  
自然派のグッドパートナー

〒487-0024

愛知県春日井市大留町598 ☎0568-51-5110, FAX51-7799

## ◆7・8月スケジュール

月日	内容
7.6	常任理事会 (OMCビル)
7.11	登攀技術指導員研修会 (御在所岳)
7.16	全国山岳遭難対策協議会 (東京)
7.21	第1回Jrクライミング講習会 (ビッグロック)
7.23	第2回Jrクライミング講習会 (カクタス)
7.24~25	登攀技術講習会・検定会 (南山)
8.3	常任理事会 (OMCビル)
8.6~10	全国高校総体 (鹿児島)
8.18	高体連・夏期大会 (鳳来町)
8.24	第2回理事会 (県スポーツ会館)
8.28	少年少女登山教室 (ハト峰)



観光庁長官登録旅行業第490号(社)日本旅行業協会正会員

## ALPINE ツアー サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社  
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい  
個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211

〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-6 第2千福ビル8階

FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com

ホームページ <http://www.alpine-tour.com>